

2021年度事業計画書

I 概況

1. 入館者数 60,000人

2020年度は、新型コロナウイルスの影響により、野球界は選抜高等学校野球大会が中止、プロ野球も開幕が延期され、無観客試合でスタート、その他のアマチュア野球でも大会が変則的な開催、中止となるなど大変な状況でした。

当館においても、緊急事態宣言発出のため4月、5月が休館、2021年1月下旬から3月7日（予定）までは平日休館となりました。また、地方や海外からのお客様の激減、夏休み短縮による小・中学生の来館減等により、来館者数は対前年約85%減の16,000人程度となる見込みです。

このような厳しい状況ではありましたが、博物館としてウィズコロナの時代に対応すべく、TwitterやYouTube等のSNSの活用をはじめ、北海道博物館が提唱した「おうちミュージアム」への参加、恒例の「野球の記録をつけてみよう」や「夏休み審判学校」をオンラインで開催、規則改正や2020年殿堂入りの田淵幸一氏のトークイベントもオンラインで開催するなどの活動を行いました。これらの活動は、今後にも活かされる経験になったと考えております。

また、野球界各団体の皆様のご協力のもと、約15年振りにホームページをリニューアルいたしました。以前のホームページより閲覧しやすくなっており、スマートフォンにも対応しておりますので、今後の情報発信に寄与することと思っております。

さて、2021年度は、まだ新型コロナウイルス感染終息の兆しが見えず、厳しい状況が続くと思われませんが、地元の文京区にフォーカスした展示や2022年に迎える日本への野球伝来150年を念頭に置いた企画、様々なトークイベント、毎年開催してきた球団デーを拡大させた特集展示、「野球で自由研究！」をさらに発展させるなどの活動を行い、60,000人の来館者を目指します。そして、創設以来の来館者数6百万人を達成したいと考えております。

2. 野球殿堂

今年の野球殿堂入りが決定した川島勝司氏の表彰式は、7月14日（水）、京セラドーム大阪で開催される社会人野球日本選手権決勝の試合開始前、また佐山和夫氏の表彰式については、8月15日（日）、阪神甲子園球場で開催される全国高等学校野球選手権大会の第2試合開始前に行う予定で調整をしております。

恒例の顕彰者ゆかりの品々を展示する「野球殿堂入り特別展」は、表彰式の前後より野球殿堂ホールにて開催する予定です。

3. 寄附制度の充実化

今までは野球界の諸団体等を中心にご寄附いただいておりますが、新型コロナウイルスのため当館の財政状況がひっ迫したことや、リニューアルしたホームページで容易に寄附が可能になったこともあり、一般の方からもご寄附を募るよう制度を整え、積極的に案内を行いたいと考えております。

Ⅱ 館内活動

【図書室】

<新規事業>

- (1) 図書紹介コーナーを設置する。
- (2) 書籍販売を検討する。
- (3) オーラルヒストリーの収集を検討する。

<ベースボール・インフォメーション・センター化に向けて>

(1) 利用者対応

- ・積極的にレファレンス対応を行う。
- ・利用者調査を行う。
- ・サービス向上の為、PC 電源貸出を行う。

(2) 資料の収集・入力

- ・図書管理システムへの資料の登録を計画的に行う。
- ・プロや高校、大学、社会人、軟式、女子野球等の資料を収集する。
- ・外国語の資料を収集する。
- ・野球文化に関する資料を収集する。

(3) 資料の組織化

- ・図書分類の見直しを検討する。
- ・雑誌分類を検討する。
- ・国立国会図書館や Deep Library との連携を検討する。

(4) 情報発信

- ・OPAC と Twitter を活用し、情報発信を行う。
- ・図書館総合展へ参加する。

(5) その他

- ・財産目録上にある資料の処遇について検討を行う。
- ・データベースを検討する。

<他機関との連携>

- (1) 複本を国立国会図書館や全国の図書館へ寄贈し、野球関係資料の分散保存を進める。

< 教育普及活動 >

- (1) 夏休み期間中に図書室で、小学生の自由研究に対応する。
- (2) 「第6回 野球で自由研究！コンテスト」を開催する。

< 調査研究 >

- (1) 明治・大正期の野球に関する資料の調査研究を行う。
- (2) 野球文化に関する資料の調査研究を行う。

【学芸員室】

< 重点目標 >

- (1) 2022年の「野球伝来150年」につながる企画展や球団特集展示等、多くの野球ファンに足を運んでもらえるよう、新たな枠組みの展示を実施する。
- (2) 「野球で自由研究！」等の企画に関連したオンラインイベントを充実させ、遠隔地からもご参加いただけるようにし、全国の野球ファンに当館の存在をアピールする。
- (3) 東京2020オリンピック開催に際し、野球日本代表・侍ジャパン関連の展示を行うと同時に、関連資料の収集を行う。
- (4) ホームページのコレクション情報を拡充する。
- (5) 収蔵庫の環境整備、棚卸を行う。

< 収集 >

- (1) 資料収集方針に沿って資料を収集し、コレクションの充実を図る。また、東京2020オリンピック野球競技の関連資料の収集に注力する。

< 整理・保管・保存 >

- (1) 分類別収蔵を徹底し、収蔵環境向上に努める。大量に保管している写真ネガの処遇を検討する。また、将来的な資料管理システム導入に向け、収蔵資料の棚卸スケジュールを策定し、作業を開始する。

< 展示・イベント >

[企画展・特別展]

- (1) 企画展「文京野球物語」
3月19日（金）～6月9日（水）予定
- (2) 「野球で自由研究！」 7月～8月予定
- (3) 野球殿堂入り特別展 7月～12月予定
※殿堂ホールで開催
- (4) 企画展「野球伝来150年 第1期」

9月17日（金）～12月9日（木）予定

（5）企画展「野球報道写真展2021」 12月18日（土）～22年3月初旬予定

[常設展・特集展示]

（1）特集展示「近鉄バファローズ 猛牛戦士たちの記憶」

2020年12月24日（木）～21年4月30日（金）

※当初会期より延長

（2）12球団特集展示

2021年5月 オリックス、6月 西武、9月 阪神、10月 DeNA、

11月 巨人

残りの7球団については22年3～6、9～11月で実施予定

（3）第5回野球で自由研究！コンテスト作品展

3月13日（土）～4月11日（日）予定

※殿堂ホールで開催

（4）全日本大学野球選手権大会 6月予定 ※アマチュア野球コーナーで開催

（5）高校野球特集展示 選抜3～5月、選手権7～8月予定

※アマチュア野球コーナーで開催

（6）都市対抗野球 11～12月 ※アマチュア野球コーナーで開催

（7）第6回野球で自由研究！コンテスト作品展

12月～22年1月予定 ※殿堂ホールで開催

[イベント]

（1）野球シーズン開幕イベント

（2）ゴールデンウイークイベント 5月

（3）開館記念日イベント

（4）野球殿堂入りの方々によるトークイベント

（5）「野球で自由研究！」関係イベント

審判員、記録員イベント、バット製作実演、グラブ製作教室等

< 調査・研究 >

（1）企画展・特別展開催に際し、それぞれのテーマについて情報を収集する。

（2）引き続き19世紀の日本野球の調査研究を続け、企画展「野球伝来150年第1期」に反映させる。

（3）2020年東京オリンピックに向け、五輪と野球に関する調査を行う。

< 教育普及活動 >

- (1) 学校教育向け体験学習プログラムの対応を行う。2021年度受入れは原則として平日の火、水、木、金の13:00~14:00の1日1組とし、①「野球の歴史について」、②「野球殿堂博物館について」、③「野球にまつわる仕事について」の3種のテーマを選択していただき、担当者からプレゼンテーションを行う予定。

< 学校教育との連携 >

- (1) 学芸員課程の履修学生を実習生として受入れる。
- (2) 「野球で自由研究！」開催について、文京区教育委員会との意見交換を実施し、企画内容や児童への告知方法等に反映させる。

【普及・広報活動】

- (1) 企画展やイベント情報を、積極的にテレビ、ラジオ、新聞、情報誌等にリリースし、マスコミへの広報に努める。また、チラシやポスターを製作し、東京ドーム構内や首都圏の本拠地球場、近隣施設等で配布、掲示し、周知に努める。
- (2) ホームページやSNS、PRTIMESで企画展やイベント情報を紹介する。
- (3) 当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に、積極的に協力してPRに努める。
- (4) NPB、アマチュア野球関係団体に働き掛け、当館を利用したイベント、記者会見等を積極的に誘致し、館内の有効利用に努める。
- (5) 「ニュースレター」を年2回発行し、配布する。

【大会・会議等への参加】

- (1) 日本博物館協会や東京都博物館協議会、日本図書館協会や日本体育図書館協議会、専門図書館協議会等の大会や総会、研修会に参加し、情報交換を行う。
- (2) 秩父宮記念スポーツ博物館・図書館をはじめ、スポーツ系の博物館・図書館との連携を保つ。

【建物設備の維持管理】

- (1) 空調設備の室外機、室内機の保守点検を、年4回専門業者に委託して、維持管理につとめる。
- (2) 映像設備のランプ交換を年1回行う。
- (3) 消防設備の保守点検を年2回専門業者に委託して行う。
- (4) 自動扉の点検を、年3回専門業者に委託して行う。
- (5) エレベーターの保守点検を、年4回専門業者に委託して行う。
- (6) 受付ポスレジシステムの点検を、年2回専門業者に委託して行う。

- (7) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日常の清掃、衛生対策を強化する。
また、お客様の手に触れやすい箇所に関しては、営業中定期的に消毒し、除菌作業を強化する。

【収益事業】

- (1) 2020年12月17日、ホームページリニューアルに伴い、オンラインショップを新規開設した結果、以前よりもさらに全国のお客様からご注文いただけるようになった為、販促キャンペーンの実施や、新商品の開発や商品アイテムの拡充等に注力し、館内での売上減をオンラインで補えるよう積極的に取り組む。

Ⅲ 館外活動

- (1) 館外貸出
野球界関連の団体、公共団体、類縁機関等の展覧会やイベントに際し、資料貸出だけではなく、企画内容に関する相談にも対応するなど積極的に協力し、野球の底辺拡大に努めるとともに、野球殿堂博物館の認知度を高める。
- (2) 船橋市との相互協力協定（2017年4月～）
- (3) 全国博物館大会への参加

Ⅳ 野球殿堂関連の事業

- (1) 2021年に野球殿堂入りされた川島勝司氏、佐山和夫氏のレリーフ制作を、彫刻家 松田光司氏に依頼するとともに、特別表彰2氏の表彰式について検討する。
- (2) 昨年から5回にわたり開催された表彰委員会規程改正小委員会での検討結果をもとに、表彰委員会規程を改正し、本年より運用する。
- (3) 野球殿堂入り特別展を、7月から12月にかけて、2氏の写真・借用資料・当館の収蔵物等を展示して、野球殿堂ホールにて開催する。
- (4) 2022年の野球殿堂入り有資格者の調査を行い、基礎資料を作成する。その資料をもとに、競技者表彰委員会の幹事による幹事会を、東京と大阪で開催し、翌年の野球殿堂入りの候補者を決定、候補者を発表する。
- (5) 競技者表彰委員会委員の異動調査を、各社の代表を通じて行った後、各社代表経由で、各社の委員に投票用紙等を配布、期限を定めて、記名投票にて、投票用紙の回収を行う。その後、競技者表彰委員会 東京幹事会の幹事により、開票作業を行う。
- (6) 特別表彰委員会 候補者選考委員会を開催し、2022年の候補者を決定、候補者を発表し、特別表彰委員会委員に対して、事前に投票用資料を郵送する。その後、特別表彰委員会を開催し、野球殿堂入りの投票を行う。
- (7) 競技者・特別両委員会の2022年野球殿堂入り通知式を、当館の野球殿堂ホールにて行い、終了後、東京ドームホテルにて、野球殿堂入りされた方々と関係者の懇親会を開催する。